

行政的課題

- 専門家や行政ニーズに基づく課題設定
- 国民の健康の保持・増進、健康に関わる「安全・安心」

一般公募型研究

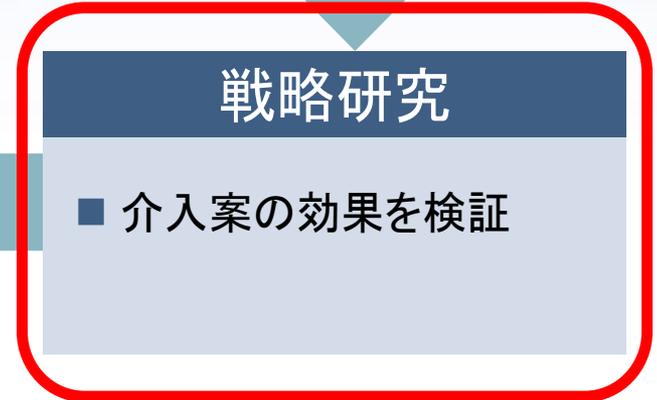
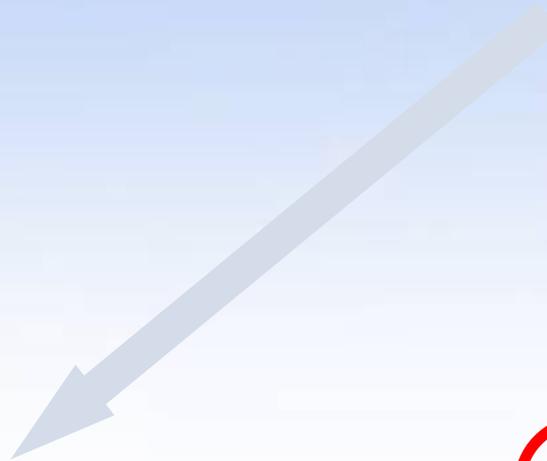
- 学術的成果
- 実施可能性の検証
- 課題解決策の立案

社会への還元・施策化

- 事業化
- ガイドライン等の普及啓発
- 基準化

戦略研究

- 介入案の効果を検証



「戦略研究」の基本要件

人間あるいは人間集団を対象とする臨床研究であって

1. 掲げた政策目標を達成するために、科学的な仮説を構築できるだけの基礎的・臨床的研究知見の集積が既に一定水準まで至っている。
2. 評価対象となる医療サービスに関する研究が、政策として国民に広く普及させることが可能な段階に到達している。
3. 患者・国民・社会レベルで意味のあるアウトカムが設定できる、またこれを測定する信頼性・妥当性の検証された指標がある。

「戦略研究」のこれまでの歩み

平成14年度

平成16年度

平成17年度

平成18年度

平成19年度

平成22年度

第2期科学技術基本計画
平成13年3月 閣議決定

「今後の中長期的な厚生
労働科学研究の在り方に
関する専門委員会」

新たな戦略研究
の開始

1. 糖尿病
2. 自殺
3. がん
4. エイズ
5. 腎臓病
6. 感覚器

「戦略的アウトカム研究策定に関する研究班」

- ・戦略研究インフラ (全体像)
- ・戦略研究インフラ (研究実施体制)
- ・モニタリング
・評価

糖尿病予防に関する戦略研究
自殺予防に関する戦略研究

がん戦略研究
エイズ戦略研究

腎臓病戦略研究
感覚器戦略研究

乳幼児事故予防戦略研究
周産期戦略研究

(平成22年度戦略研究に向けた研究実施計画書作成に関する研究)

| | | 厚生労働科学研究 | | 文部科学省 科学研究 一般公募課題 |
|------|---------|---|--------------------|-------------------------|
| | | 戦略研究 | 一般公募課題 | |
| 計画段階 | 課題 | 具体的に設定 | 具体的に設定 | 研究者一任 |
| | 研究目標 | 原則として、事前に設定 | 具体的に設定 | 研究者一任 |
| | 研究計画の骨子 | 原則として、事前に設定 | 研究者一任 | 研究者一任 |
| | 研究実施計画書 | 事前に設定した アウトカム指標・ プロトコルに基づく | 研究者一任 | 研究者一任 |
| | 事前評価の視点 | 実現可能性についての 「絶対評価」 | 申請課題の中 での「相対評価」 | 申請課題の中 での「相対評価」 |
| 遂行段階 | 組織と運営 | 研究グループに加え データマネジメントセンター 委員会組織等により運営 | 研究グループ 中心 | 研究グループ 中心 |

| | | 厚生労働科学研究 | | 文部科学省 科学研究 一般公募課題 |
|-------|-------|--|---------------|-------------------------|
| | | 戦略研究 | 一般公募課題 | |
| 遂行段階 | 報告と評価 | 年次報告・評価に加え、戦略研究企画・調査専門検討会によるモニタリング、中間・事後・追跡評価を実施 | 年次報告・評価 | 年次報告・評価 |
| その他特徴 | 研究期間 | 原則として5年 (中間評価の結果によっては 終了・中止も有り得る) | 1年～数年 | 数年 |
| | 金額 | 大型(数億円) | 数百～数千万円 | 数百万円 |
| | 課題数 | 数課題 | 約1,400課題 | 約5,200課題 |
| | 性格 | 契約型 (コントラクト) | 助成型 (グラント) | 助成型 (グラント) |